

2017年度 最終 1月

難関大本番レベル記述模試

日本史B・採点基準 記述・記号部分

◆共通の原則◆

1. 漢字で書くべき用語（語句）のひらがな表記には得点を与えない。また、ひらがなで書くべき用語（語句）の漢字・カタカナ表記にも得点を与えない。
2. 判読しにくい文字についてはできるかぎり善意に解釈して採点する。
3. 部分点は設けない。
4. 「漢字○字で」と指示した設問に対して『』を加えて字数を一致させた答案を示した場合、『』は漢字ではないなどの理由から不正解とする。
事例) 「漢字5字で」… ○建武年間記 ×『建武記』

- 1 衣服の歴史（2点×10=20点）
- 2 原始～中世の社会・経済（2点×10=20点）
- 3 中世・近世の対外関係（2点×10=20点）
- 4 幕末～大正期の史料（2点×10=20点）
- 5 戦前の陸海軍と戦後の再軍備（2点×10=20点）

*注意事項・許容解など
特になし。

論述部分

◆論述問題・添削記号◆

難関大本番レベル記述模試・日本史Bの採点では、次のような添削記号を用いています。

- | | |
|-----------------------------|-------------|
| 1. <□□□□> | 加点要素 |
| 2. □□□□
<u>~~~~~</u> | 表現に難あり |
| 3. □□ [∨] □□ | 文要素の欠落／脱字 |
| 4. □□ [×] □□ | 誤字（略字を含む） |
| 5. <u>□□□□</u> ^x | 内容に誤りあり |
| 6. 「□□□□」 | 設問要求に答えていない |

◆論述問題・共通の基準◆

- 採点基準においては加点要素を、**3点**のものは太字・アミカケ□□で、**2点**のものは二重線□□で、**1点**のものは下線□□で、それぞれ示している。採点に際しては常に前後の文脈に留意する（◎で示した事項、（ ）内に示した事項に内容が反していないかを確認する。許容する事例や例外的対応などについては※で示してある）。
- 加点要素の要件を一部しか満たしていない箇所については、それぞれの配点未満の得点を与える。（太字・アミカケ□□→**2点**以内、二重線□□→**1点**、下線□□→**0点**）
- 歴史用語**（赤字で表示）についての誤字、当て字、漢字で記すべき語句のひらがな・カタカナ表記は、それが加点要素に直接関係する場合、**1点減点**。同一語句・文字がくりかえし誤っている場合は、それぞれを減点の対象とするのではなく、まとめて**1点減点**とする。加点要素とは直接関係しない箇所に誤字・当て字があった場合、減点しない。
- 欄外に設問記号を記した答案や、句読点のはみだしなど字数がわずかに超過している答案は、本番では無効答案になる可能性もある。しかし、受験生の学力を正確に測定するという観点から、あまりにも明白に指定条件を無視している場合を除き、採点の対象とする。
- 設問によっては加点要素の合計が配点を超えている場合がある。ただし、各問とも配点を満点としてこれを超える得点は与えない。

5 戦前の陸海軍と戦後の再軍備（論述部分）

問3 日中戦争の展開（1937年9月～1938年1月）

◆加點要素の合計11点→10点満点◆

◎中国側の動向（1937年9月～1938年1月）

- a 第2次国共合作を実現した／抗日民族統一戦線を組んだ …… 2点以内
※「国共合作を実現した」は1点
※「国民党と共産党が合同した」では非加點
- b （首都を）重慶に移転した …… 2点以内

◎日本側の動向（1937年9月～1938年1月）

- c （日本軍が）南京を占領した …… 2点以内
※当時の首相の声明（和平交渉打ち切り）より後のこととした場合は非加點
- d 近衛文麿（首相）が声明を発表した …… 2点以内
※「第一次近衛声明を発表した」は1点
※単なる「近衛声明」のみでは非加點
- e （首相が）「国民政府を相手とせず」と声明を発表した …… 2点以内
- f （首相の声明によって）日本側からの戦争収拾〔和平交渉〕を打ち切った …… 1点以内